

# 介護予防

# 健康長寿 の 第一歩

入場無料

申込不要

先着順1,500名

平成19年 **12月13日(木)**  
午後1時～4時30分



※来場者の方には港区から介護予防に役立つ教材を用意します

**メルパルクホール(芝公園)**

## ① 誰がどうする介護予防

東京都老人総合研究所 副所長 鈴木 隆雄

## ② しゃきしゃき噛んで介護予防

日本大学松戸歯学部准教授 那須 郁夫

## ③ 筋トレで心も体もリフレッシュ

東京都老人総合研究所 介護予防緊急対策室 室長 大淵 修一

\*リフレッシュタイム:「港区活動紹介」

## ④ 質疑応答

講師全員

司会: 東京都老人総合研究所 副所長 鈴木 隆雄



JR・モノレール浜松町駅下車北口徒歩8分  
都営地下鉄三田線芝公園駅下車A3出口徒歩2分  
都営地下鉄浅草線・大江戸線大門駅下車A3・A6出口徒歩4分

お問い合わせ



財団法人 東京都高齢者研究・福祉振興財団

**東京都老人総合研究所**

広報・普及担当

電話 **03-3964-3241** 内線3008

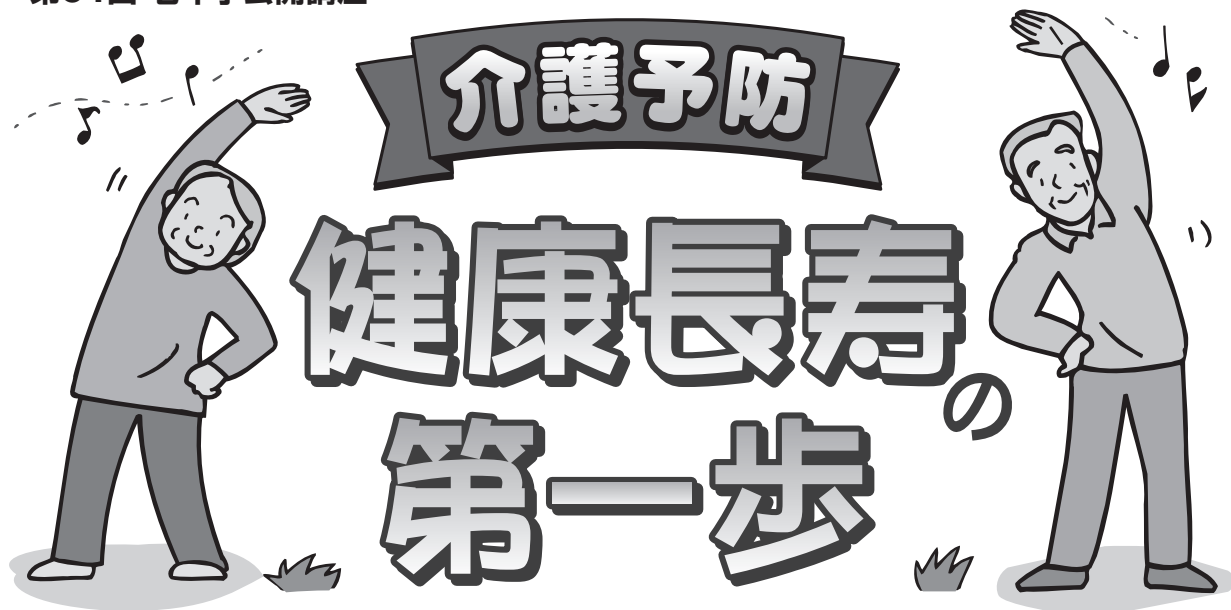
<http://www.tmig.or.jp/>



手話通訳を同時に行います

主催/東京都老人総合研究所

共催/港区



私どもの長年にわたる老化に関する調査から、高齢者の健康度(元気度)は平均寿命が延びるにつれて、確実に向上していることが明らかになっています。

現在わが国では全人口のおよそ20%(2,600万人)が高齢者なのですが、65~74歳の比較的若い高齢者(前期高齢者)の健康度はきわめて高く、社会的活力もあって、もはや老人とは呼べない方々が多くなってきています。一方、75歳を越える高齢者(後期高齢者)の方々では、やはり老化による身心の衰えが少しずつ目立つようになってきます。それは、必ずしも病気が原因というわけではなく、むしろ筋力をはじめとする体力、すなわち生活に必要な体力(生活体力)が知らず知らずのうちに衰えてしまうのです。

しかし大切なことは、このような老化による生活体力の衰えの大部分は適切な対処によって予防することが可能だということなのです。しかもそれは、70歳になってからでも、あるいは80歳になってからでも遅くはありません。年をとると「あれもできなくなった、これもできなくなった」と思いこんでいませんか。でも決めつける必要はないのです。ちょっとした心がけで今までどおり、いいえむしろ今まで以上に元気になれるのです。これが、介護予防です。介護予防というのは何も特別なことをする訳ではありません。衰えた機能を少しの努力と根気で克服することが大切です。まさに「健康長寿の第一歩」なのです。

この公開講座では、身近なところで積極的に行える介護予防のポイントを具体的に御紹介したいと思います。

東京都老人総合研究所 副所長 鈴木 隆雄

財団法人 東京都高齢者研究・福祉振興財団  
東京都老人総合研究所

広報・普及担当

電話 03-3964-3241 内線 3008

<http://www.tmig.or.jp>